

▶生活・心の扉

児童の心を育てる

— 「しののめ五心」を紹介します—

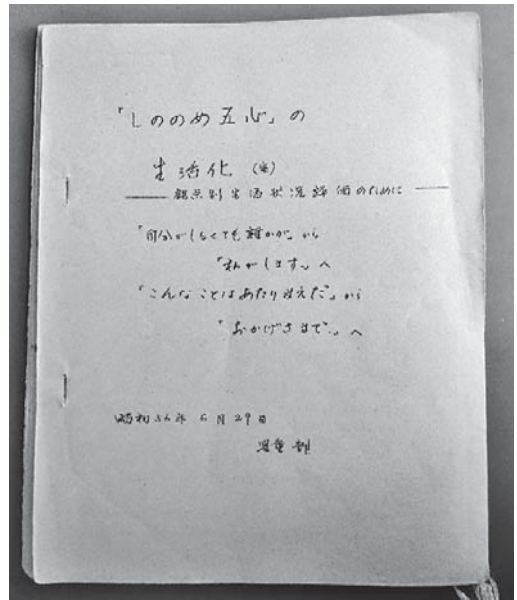
羽 場 邦 子

以前、小学校の倉庫を片付けていた時、『しののめ五心』の生活化（案）—観点別生活状況評価のために— 昭和56年6月29日 児童部』という冊子を見つけました。

「しののめ五心」について、次のように書いてありました。「人間性豊かな児童をめざす具体的な柱として、以下に示す『しののめ五心』を定めている。『ハイ』という素直な心、『ありがとう』という感謝の心、『すみません』という反省の心、『おかげさまで』という謙虚な心、『わたしがします』という奉仕の心。この五つの柱は、学校生活を中心とした児童のくらしの中で『こんなことはあたりまえのことだ』『人が見ていないのでこのくらしいのことは』『自分がしなくてもだれかが』などの児童の心に潜む弱さを克服させ、よりよいしののめ子どもとなるための指針でもある。」

この「しののめ五心」は、昭和56年に書かれたものですが、今の東雲小学校の児童の生活の基盤として大切にしている「〇〇を通して心を育て、〇〇を通して子どもの姿を変える」と同じです。私たち教員もこの「しののめ五心」を読み返し、改めて児童の生活を見つめ直しています。また、「しののめ五心」を《自己診断 百箇条》として児童が自己チェックする項目もありました。実際に教室で自己診断した学級もありますよ。百箇条の一部を紹介します。

- 《素直な心》 礼儀作法 ○だれにでも気もちのよいあいさつができていますか。
- 《奉仕の心》 清掃活動 ○時間に遅れずに、そうじ場所にきたか。
給食 ○身なりはきちんと整えているか。
- 《反省の心》 安全 ○廊下、階段は黙って歩いているか。
交通安全 ○登下校のとき、道路でふざけ合って歩いているか。
- 《謙虚な心》 基本的な生活習慣 ○ロッカーや机の中は、整理整頓されているか。
- 《感謝の心》 感謝の気もちのある生活 ○心をこめて「ありがとう」という言葉が出る生活をしているか。



【「しののめ五心」の生活化（案）】